

所属：人文学部・人文社会科学研究所 文化学科 ヨーロッパ・地中海研究

准教授 田中 綾乃 (たなか あやの)

カテゴリ) 芸術・スポーツ、教育学・心理学・哲学、社会理論・思想

《一言アピール》 18世紀のドイツの哲学者・カント研究を主軸にしなが、現代が抱える様々な諸問題(生命倫理や環境倫理)についても考察を行っています。  
 また、芸術・美学にも関心があり、とくに舞台芸術に触れる機会が多いことから、演劇批評や歌舞伎の解説、講演会などにも従事しています。

## 研究テーマ

## Research Themes

- 私たちは「世界」をどう捉え、認識しているのか
- 「善く生きる」とはどういうことなのか
- 「美しいもの」や芸術作品は普遍性を持ちうるのかどうか

## 応用分野

- 応用倫理(生命倫理・環境倫理)についての研究
- 舞台芸術(現代劇・古典芸能)の可能性についての研究

## 著書

- 『カントを学ぶ人のために』、世界思想社、2012年(共著)
- 『坂部恵 一精神史の水脈を汲む』、水声社、2011年(共著)
- 『エコ・フィロソフィ入門—サステイナブルな知と行為の創出』、ノンブル社、2010年(共著)

## 講演実績

- 『「演劇」の魅力— 劇的な作品— とは何か』：三重大学人文学部特別講座、2011年7月
- 『哲学へのいざない—人間中心主義とエコロジー』：河合塾特別講演会、2010年9月
- 『阿漕浦と浄瑠璃の魅力』：三重大学人文学部特別講座、2010年8月

## 論文

- 『カントの因果論をめぐる』、『論集』第15号：三重大学人文学部、2012年
- 『機知と反省的判断力の関係—カント『人間学講義録』の意義』、『論集』第14号：三重大学人文学部、2010年
- 『自然に対する義務と人間中心主義—カント哲学の人間観を手掛かりに—』、『エコ・フィロソフィ』研究Vol.3、2009年
- 『信仰と知—カントにおけるキリスト教の問題』、『論集』第59巻1号：東京女子大学学会、2008年
- 『<媒介>と<包摂>—カント「構想力」の問題への—考察』、『論集』第58巻1号：東京女子大学学会、2007年
- 『カントの<実践的判断力>について—カント倫理学への—視座—』、『論集』第56巻2号：東京女子大学学会、2006年
- 『カントの<直観>と<象徴>をめぐる—考察』、『哲学』第54号：法政大学出版局、2003年

## 所属学会

- 日本哲学会
- 日本カント協会
- カント研究会
- 財団法人「演劇人会議」

## 社会活動

- 東洋大学「エコ・フィロソフィ」学際研究イニシアティブ 客員研究員(2009年~2012年)

## 演劇会

- ZENCAFE第22回『だから芝居はおもしろい~演劇の魅力~』、津あけぼの座(2012年)

## 関連ホームページ

- 三重大学人文学部文化学科ヨーロッパ・地中海研究(コース紹介)  
<http://www.human.mie-u.ac.jp/gakubu/gakka/europe.html>
- 三重大学人文学部文化学科ヨーロッパ・地中海研究(教員紹介)  
<http://www.human.mie-u.ac.jp/gakubu/staff/europe.html>
- 三重大学教員紹介  
<http://kyoin.mie-u.ac.jp/profile/2598.html>

☆詳細は、HPをご覧ください。